

住宅用スプリンクラー販売

水道に直結 手軽に導入可能

前田バルブ工業

水道用バルブメーカーの前田バルブ工業(本社名古屋市中港区船見町、前田康雄社長、電話052・618・3800)は、住宅用スプリンクラー「SP-DRY(エスピードライ)」を拡販する。水道に直結した小型タイプで、住宅に手軽に導入できる点をアピールし、防災意識の高まる一般家庭のニーズを取り込む。認知度向上、販路開拓を進め、年間100棟の設置をめざす。

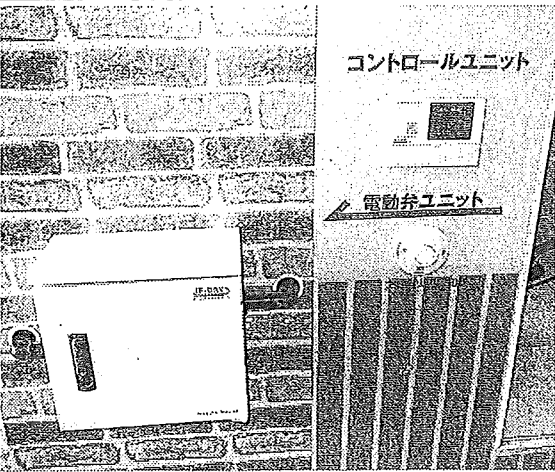


前田崇統専務

07年の法改正で、グルーポンクラーユニット。住宅用火災警報器と連動した水道直結型の乾式タイプで、警

同社は、水道用バルブ・継ぎ手など給水関連装置の製造販売を手掛ける。20

ない水道直結型スプリンクラーを製造し、グルーポンクラー向けに販売してきた。



住宅用スプリンクラー「SP-DRY」のデモ装置

エスピードライは、グルーポンクラー向けから、より安価で小型化した一般住宅仕様のスプリ

報器が火災を感知した場合のみ通水される仕組み。普段は管内に水がない状態のため、日常生活上の誤作動や配管損傷による放水のリスクを防ぐ。コントロールユニットと電動弁ユニット、スプリンクラーヘッドを取り付けるだけで手軽に導入でき、新築2階建ての4LDKの一般住宅の場合で、価格は工事費込みで約60万円。高い性能が認められ、日本消防設備安全センターから住宅用スプリンクラーとして初の推奨を受けた。

同社では、防災や安全対策につながる点をアピールし、市町村などの行政機関や火災保険を取り扱う保険会社などの異業種との連携を模索する。認知度向上に向け、展示会への出展やホームページ、ショールームの活用も進めていく。ハウスメーカーや工務店との連携も強化し、防災意識の高いエンドユーザーへのPRに注力する。

前田崇統専務は「エスピードライのブランディング展開に力を入れていきたい」と話している。